

登録No. S-105
 登録名 Trastuzumab deruxtecan療法
 催吐性リスク 中等度
 適応疾患 乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	パロノセトロンバッグ デキサメタゾン	50mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30 min	
Rp.2	5%ブドウ糖液	100mL/body		d1	d.i.v.	全開	トラスツマブ・デルクスチカ前後フラッシュ用
Rp.3	トラスツマブ・デルクスチカ 5%ブドウ糖液 (注射用水)	5.4mg/kg 100mL/body (5mL/V 溶解用)		d1	d.i.v.	初回90minで忍 容性良好であれば 2回目以降30min まで短縮可	生食と混注不可 0.2μmインラインフィルター使用 点滴バッグを遮光

1クルールの期間 3週間
 その他（副作用・PS規定等）

投与時の注意: 0.2μmインラインフィルターを通して投与。生食との混合は避ける。点滴バッグを遮光すること。

禁忌: トラスツマブ・デルクスチカに対し過敏症の既往歴あり

慎重投与: 間質性肺疾患の既往、LVEF低下、心機能低下、肝機能障害

留意すべき患者: 生殖能を有する者、妊婦、授乳婦、小児

開始基準: LVEF \geq 50%、PS 0又は1、Neutr \geq 1500/ μ L、Plt \geq 10万/ μ L、Hb \geq 9.0g/dL、Ccr \geq 30mL/min

AST/ALTが施設基準値上限の5倍以下

T-Bilが施設基準値上限の1.5倍以下(ただし肝転移がある場合: ULNの3倍未満)

副作用: 間質性肺疾患、骨髄抑制、Infusion reaction、悪心・嘔吐、疲労感、脱毛、便秘、下痢など

減量の目安: 1段階減量 4.4mg/kg

2段階減量 3.2mg/kg

3段階減量 投与中止

LVEF

40% \leq LVEF \leq 45%、ベースラインからの絶対値の低下 $<$ 10% \rightarrow 休薬考慮(3週間以内にLVEF再評価)

40% \leq LVEF \leq 45%、ベースラインからの絶対値の低下 \geq 10%かつ \leq 20% \rightarrow 休薬(3週間以内にLVEF再評価、 $<$ 10%に回復しない場合は中止)

LVEF $<$ 40%又はベースラインからの絶対値の低下 $>$ 20% \rightarrow 休薬(3週間以内にLVEF再評価、同結果の場合は中止)

Infusion reaction

Grade1 \rightarrow 50%減速して投与

他の症状なければ次回以降は元の速度

Grade2 \rightarrow Grade1以下に回復するまで投与中断

再開の場合も50%減速、次回以降も減速して投与

Grade3・4 \rightarrow 中止

T-Bil

Grade2 \rightarrow Grade1以下に回復するまで休薬

(7日以内に回復: 減量せず再開、8日以上: 1段階減量)

Grade3 \rightarrow Grade1以下に回復するまで休薬

(7日以内に回復: 1段階減量、8日以上: 中止)

Grade4 \rightarrow 中止

Plt

Grade3 \rightarrow Grade1以下に回復するまで休薬

(7日以内に回復: 減量せず再開、8日以上: 1段階減量)

Grade4 \rightarrow 休薬 Grade1以下に回復後、1段階減量して再開

下痢又は大腸炎

Grade3 \rightarrow Grade1以下に回復するまで休薬

(3日以内に回復: 減量せず再開、4日以上: 1段階減量)

Grade4 \rightarrow 中止

貧血

Grade3→休薬 Grade2以下に回復後、減量せず再開
Grade4→休薬 Grade2以下に回復後、1段階減量して再開

QT間隔延長

Grade3→休薬 Grade1以下に回復後、1段階減量して再開
Grade4→中止

Neutr

Grade3→休薬 Grade2以下に回復後、1段階減量又は減量せず再開
Grade4→休薬 Grade2以下に回復後、1段階減量して再開

FN→休薬 回復後、1段階減量して再開

その他副作用

Grade3→Grade1以下に回復するまで休薬
(7日以内に回復：減量せず再開、8日以上：1段階減量)
Grade4→中止